



進路の情報に目を向けていますか？👁️👁️

6月頃から、進路関係の配布物や進路のクラスルームで配信する資料がかなり多くなりました。みなさんはしっかりと目を通していますか？進路の情報はその時点での一番新しい情報が提供されています。配布されたものはすぐに目を通すようにしましょう。後で知って後悔・・・なんてことにならないように。

7月に入りすぐに配布した「令和9年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」には、換算内申や素内申などの説明が記載されています。受験の仕組みをよく理解することは大切ですので、ぜひ確認してみてください。

「検定」と「受験」

1学期に、第1回目の英検と漢検、数検が実施されています。検定は、合格しないと資格として認められません。「あと1点足りなかった」だけでも不合格は不合格。せっかく受験するなら、しっかり資格を取得したいものです。受けようかなと思っている人は、2学期の各検定の日時を調べ、計画的に取り組み、合格目指してがんばりましょう。

検定について多く寄せられる質問が「英検・漢検・数検の級を取得していると本当に受験に有利なの？」というものです。そこで、入試の際に検定の級がどのように扱われるか、整理しておきたいと思います。

① 級を取得していると、何級であっても資格として調査書に記載することができます。

都立高校用の調査書には、「諸活動の記録」という欄があります。ここには生徒会活動、係活動、部活動などの校内での活動はもちろん、外部の団体で活躍したことなども記載することができます。検定の級を取得していることも、ここに記載することができます。調査書に記載するためには、合格証を確認する必要がありますので、大切に保管しておいてください。ただし、都立高校の場合は、検定の級を持っているからといって「調査書点が△点加点される」という優遇処置はありません。

② 私立推薦制度・併願優遇制度を利用する場合に、加点が認められる高校もあります。

私立高校の推薦制度や併願優遇制度を利用する場合は、学校の成績に対する基準が提示されています。たとえば、ある学校では以下のように提示されています。

5科素点合計 16以上であること。ただし、英検または漢検3級以上を取得している場合は最大1点まで加点する。

つまり、5科素点合計が15であっても、英検3級を取得していれば基準を満たしているとみなされ、推薦制度・優遇制度が利用できるわけです(最近は基準が厳しくなっていており、準2級以上でないと優遇されない学校も増えてきています)。ただし、「すべての私立高校でこのような優遇措置を設けているわけではない」という点には注意してください。私立高校によって異なりますので、学校説明会に参加して、必ず確認するようにしてください。なお、こうした制度の利用については、具体的な志望校が絞られてきたら、担任の先生に相談してください。先の質問に戻ると、「検定の級を取得していたので優遇制度が使えた」ということもあります。何より学校の勉強が一番なのは当たり前。そして、自分の適性や目標を考えながら志望校を選ぶことが大切です。やるべきことの優先順位は間違えないようにしましょう。

進路関係 インフォメーション

- 7月13日(月)に、「都立入試スピーキング模試」のリーフレットを配布しました。
- 東京都教育委員会指定「都立高校における部活動の特別強化プロジェクト Premier Club(プレミアクラブ)」のリーフレットを、第3学年進路のクラスルームで配信しました。都立高校において、スポーツや文化・芸術等で高い成果の期待できる部活動を指定し、ソフトとハードの両面から重点的に支援する取組です。「都立高校における部活動の特別強化プロジェクト」指定部活動の一覧が記載されていますので、確認してみましょう。